



# 大学における輸出管理

---

同志社大学工学部の現状を踏まえた提案

同志社大学 ビジネス研究科 佐伯崇



# 概要

---

- 大学における輸出管理の現状について、現場の教員と研究者への認識度の調査を踏まえて、発表を行う
- 輸出管理は多くの大学でまだ始まったばかりであるが、大学でスムーズに輸出管理を導入する手法を探るため、同志社大学工学部および生命医科学部の教員、研究者にアンケート調査を行った
- 今回の発表では、大学で輸出管理を行う際にその出発点となる手法の提言を行い、具体的な手法として、ITシステムによる管理の可能性を検討する



# 研究の背景

---

- 輸出管理に対する興味がスタート

日本の多くの企業では、輸出管理は常識

しかし、セキュリティーは弱い部分が狙われる為、  
それ以外の組織はどうなのか？

→ 工学部出身として輸出管理の必要性を認識

- 大学での輸出管理の強化が求められる状況

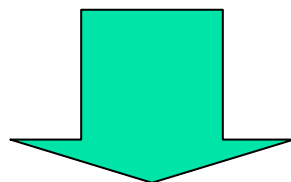


## 当大学で輸出管理を実施するなら？

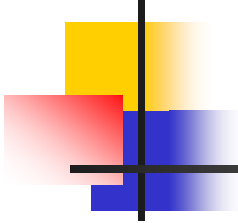
---

- 実際の組織へ輸出管理を導入する場合、現場の認識状況に応じた適切な手法がある

そのため、同志社大学工学部、生命医科学部の研究者へ配布→郵送回収でアンケート調査を実施



その結果から最適な手法を検討・提案する



## 過去に実施された大学への調査

---

- 吉田 匠 氏

東北大学 産学官連携推進本部

平成20年3月 「外為法等への対応方法」

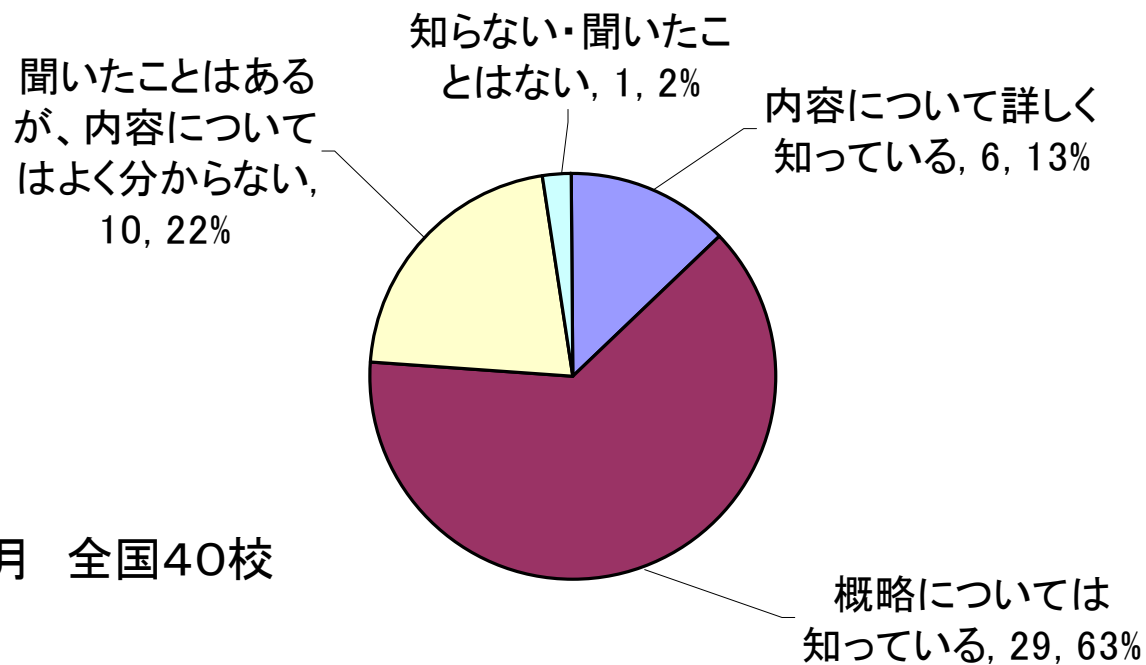
- CISTEC Journal 2009. 1 No.118

「大学における安全保障輸出管理についてのアンケート調査」

それぞれ大学の輸出管理についての調査報告がある

# 大学単位での調査結果

外為法に基づく輸出管理とは何かを知っていましたか？



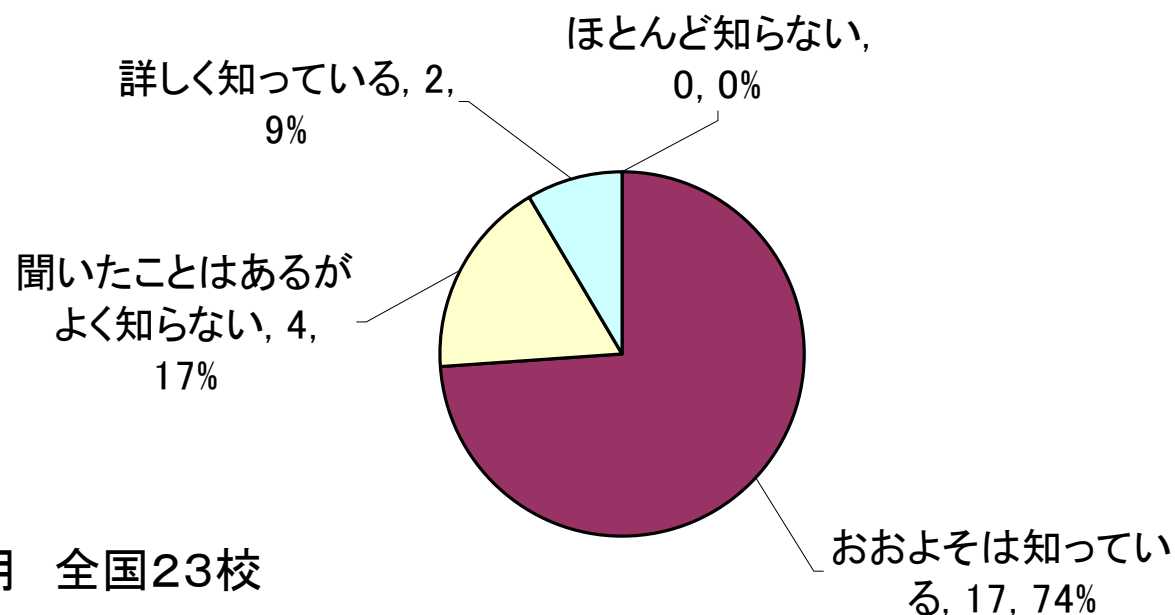
調査実施

平成19年8月 全国40校

「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成

# 大学単位での調査結果

外為法に基づく安全保障輸出管理の概要をご存じですか？

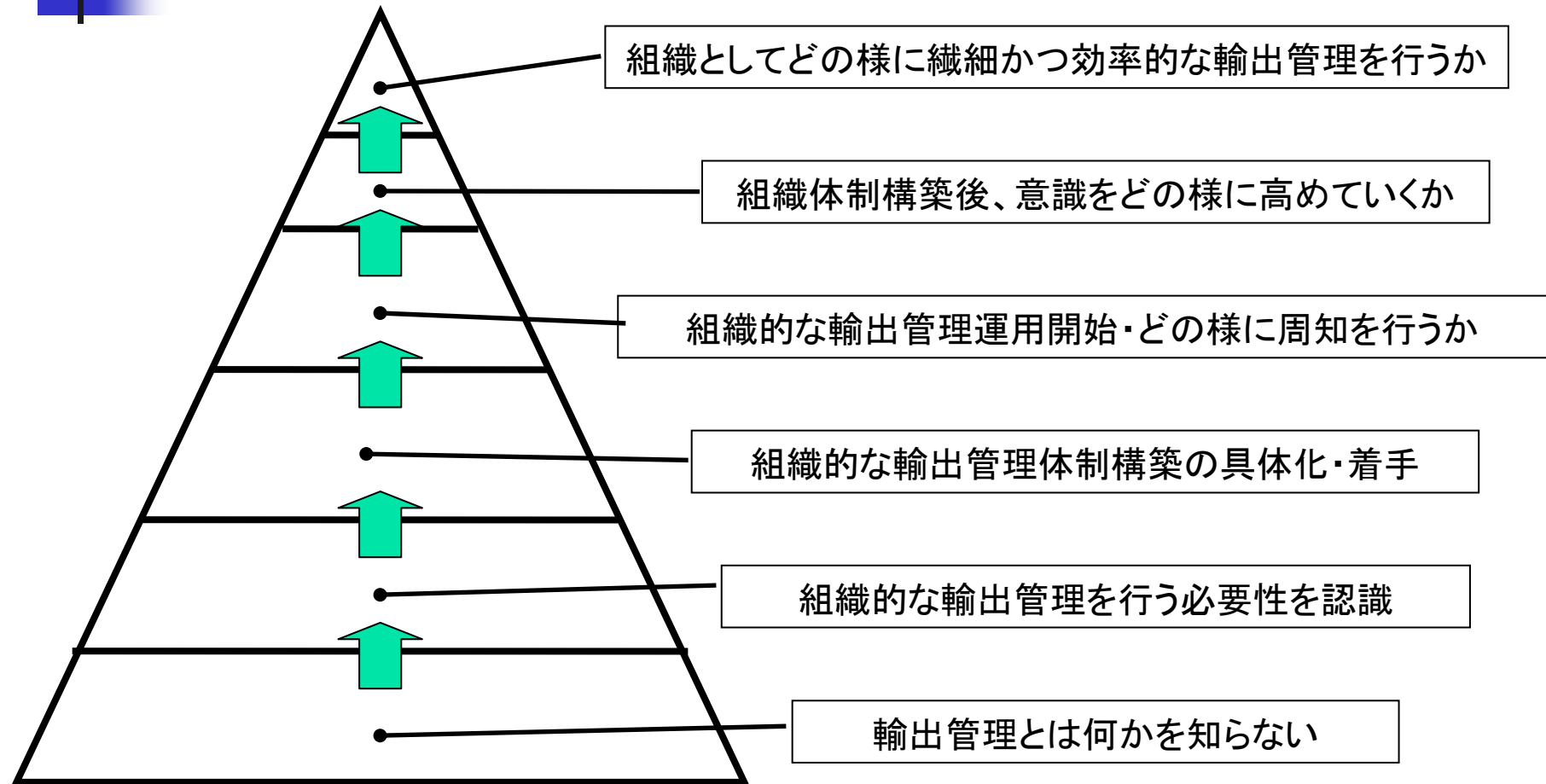


調査実施

平成20年11月 全国23校

「CISTEC Journal No.118 大学におけるアンケート調査」  
平成21年1月 より作成

# 認識階層と手法について

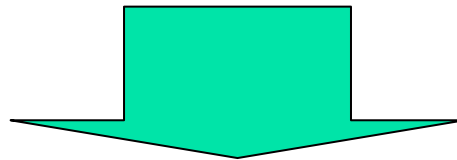


「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成



# 当大学での調査結果

- 輸出管理についての通達があったと回答
- 面倒が増えるのではという考えは強い
- 自分の研究について該非が不明な場合が多い



- 「輸出管理とは何か」 or  
「組織的な輸出管理を行う必要性を認識」  
からスタートする必要がある



# 提案

---

- まずは認識。 輸出管理について知ってもらう
  - 研究者のプラスになることを強調
  - 輸出管理は倫理感、道徳の問題
  - 必要以上に萎縮する必要はない
  
- 研究者に面倒を増やさないための  
管理業務支援システムの提案
  - Webによる情報提供、データベース管理を提供



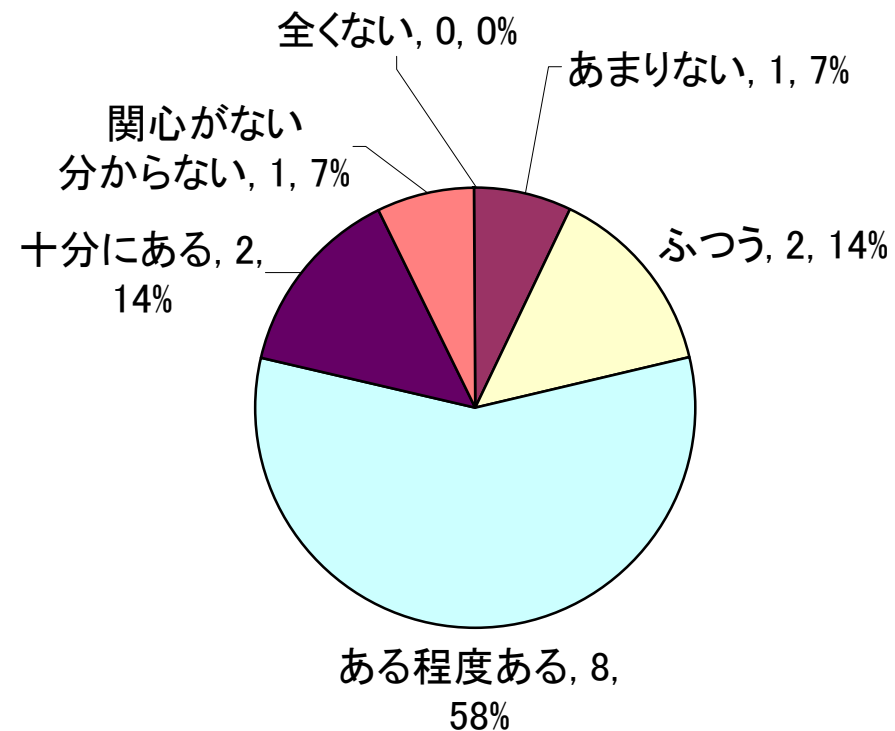
# まずは学内全体での認識向上

---

- 学内で輸出管理の担当を設置する
- 研究者に対して、  
知財や著作権、安全管理、動物実験等の講習に、  
輸出管理の基本的な説明会も実施する
- 学生へ、科学者倫理の教育において、  
輸出管理を含めて実施する

# 輸出管理は負担になるのか？

貿易管理に時間を費やすことは、  
研究活動に対して障害になると思われますか？



アンケートから、研究活動の生産性を低下させない管理手法が求められる



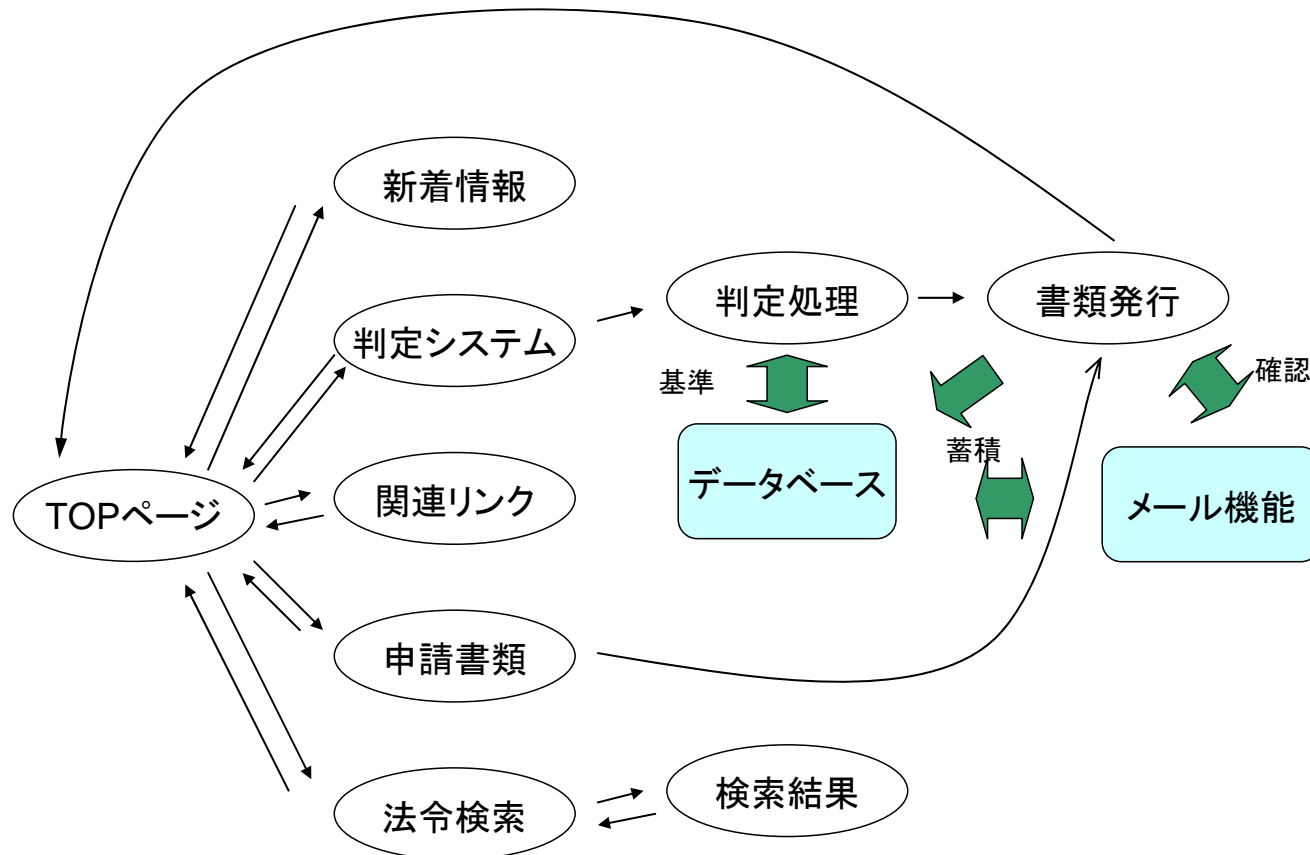
# 輸出管理情報システム

---

- 研究者へ負担をかけないことをコンセプト
  - ・Webを用いた輸出管理の情報提供
  - ・データベース、スクリーニングを提供

中央大学の鈴木寿先生の「ツールX」  
スタンフォード大学のExport Control  
を参考にしたシステムを基本とし、  
法令改正による、懸念国やリストの変更にも対応できる  
データベースとメール通達による輸出管理システム

# 輸出管理情報システム



	要求定義書
システム名称	輸出管理サポートシステム
システムの目的	学内における輸出管理のサポート
システムの機能	輸出管理判定システム SSLサポート データベース蓄積機能 自動メール送信機能 類似申請事例の検索
システムの構成	汎用WEBサーバー ApachなどのHTTPによるWEBサービス Perl言語によるスクリプト SSL証明書取得

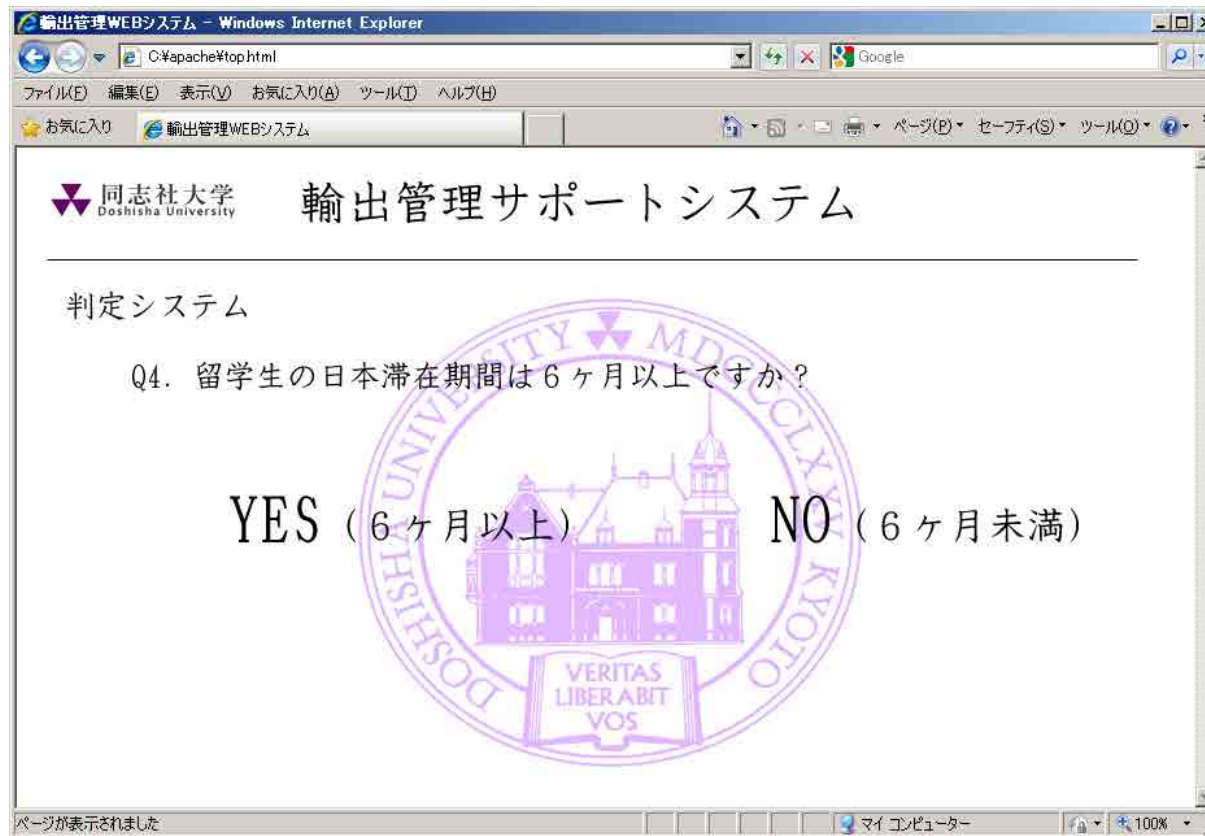
# 輸出管理情報システムの概要



学内、イントラネットからの  
アクセスが可能

輸出管理のポータルサイト  
法令や申請が可能となる

# 輸出管理情報システムの概要



輸出管理の簡易的な判定が可能

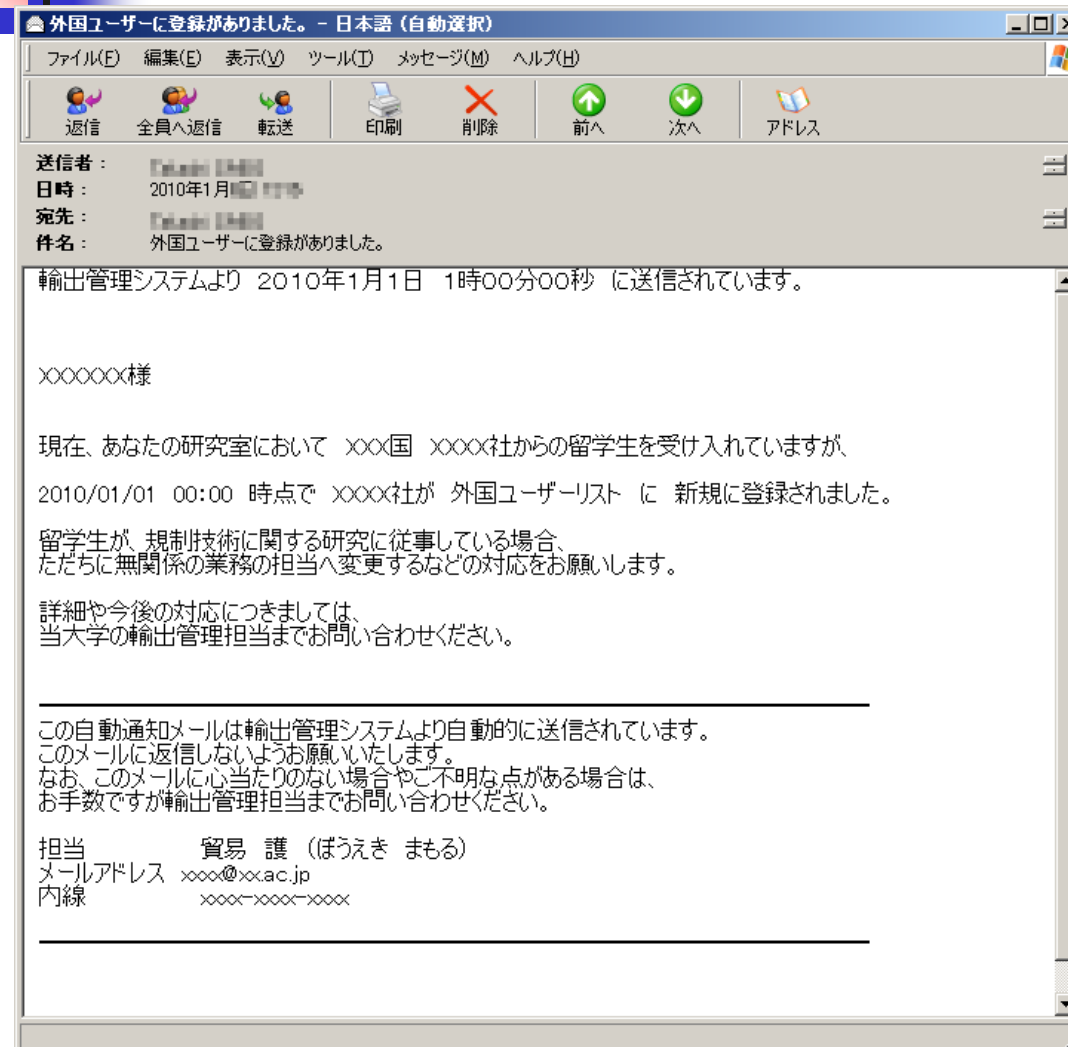
判定できない難しいケースは、担当者への個別相談となる

キャッチオール規制など、技術の転用などの判定も担当者相談となる。

中央大学 鈴木先生の「ツールX」を参考に作成



# 輸出管理情報システムの概要

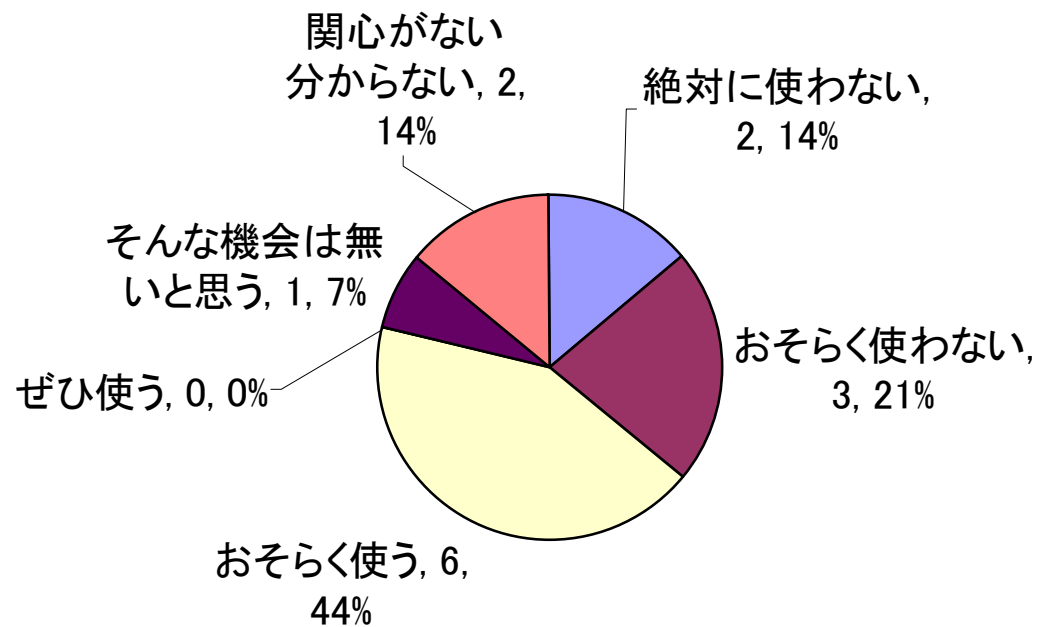


リスト規制のリスト改定や懸念国、懸念企業が追加されるなど、関係法令が変更された場合、

担当者が条件を変更すると注意勧告メールを自動配信

# 支援ツールの可能性は？

輸出管理をIT技術で容易に確認できる業務支援ツールができれば、活用されたいですか？



アンケートから、輸出管理システムの有効性が推測できる



# 今後の検討課題

---

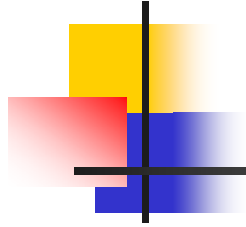
- わかりやすいインターフェースの開発
  - 輸出管理に馴染んでもらう
- セキュリティーの確保
  - 情報を狙う敵にとっては宝の地図である
- キャッチオール規制と研究データベースの対応
  - たとえば、化粧品が化学兵器になるなど、転用の可能性検討など、想像力に依存する部分はプログラムでは難しい



## まとめ

---

- 輸出管理を導入する場合の状況把握として、同志社大学でアンケート調査を実施した
- 輸出管理への認識が低い傾向が見られた
- この状況下での輸出管理導入に向けた、
  - ・認知度を向上させる活動の提案
  - ・効率的に支援する情報システムの提案



ありがとうございました。